



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	97,488	10.0	8,519	23.2	8,874	26.5	5,523	33.2
2019年12月期第3四半期	108,287	1.1	11,087	6.4	12,071	4.7	8,268	7.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 3,563百万円 (52.3%) 2019年12月期第3四半期 7,463百万円 (4.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	42.17	
2019年12月期第3四半期	62.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	237,438	195,919	80.5
2019年12月期	247,211	198,579	78.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 191,218百万円 2019年12月期 193,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		15.00		15.00	30.00
2020年12月期		15.00			
2020年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	7.6	12,000	12.9	12,900	15.3	8,200	21.1	62.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益は、2020年10月26日に適時開示しました「自己株式の取得枠拡大に関するお知らせ(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)」による取得が完了したものと算出しています。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	131,996,299 株	2019年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	2,251,622 株	2019年12月期	371,454 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	130,979,127 株	2019年12月期3Q	131,627,915 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）の世界経済は、欧米や一部新興国における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の勢いは衰えることなく、社会経済活動は停滞しました。わが国経済は、企業の業況判断や雇用情勢の弱さなど景気は依然として厳しい状況が続きましたが、第3四半期に入り持ち直しの動きが見られました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、半導体や抗菌・抗ウイルス向けの需要は引き続き堅調でしたが、自動車をはじめとした多くの産業分野向けの需要については回復時期に時間差が生じており本格的な改善にまではいたりませんでした。また、原油やナフサなどの原料価格は、第1四半期後半から低水準で推移し、アクリルモノマーをはじめとした基幹化学製品の販売価格は弱含みとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は974億8千8百万円（前年同期比10.0%減収）、営業利益は85億1千9百万円（前年同期比23.2%減益）、経常利益は88億7千4百万円（前年同期比26.5%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億2千3百万円（前年同期比33.2%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

① 基幹化学品事業

電解製品は、広範な産業分野において需要低迷が続き販売数量の回復が遅れたことなどから減収となりました。アクリルモノマー製品は、需要低迷による減販に加え原料価格安に連動した製品価格の低下が影響し減収となりました。工業用ガスは、需要回復の遅れなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は427億1千万円（前年同期比12.8%減収）となりました。

営業利益は、原燃料価格の低下による変動費の改善はありましたが販売数量の減少や販売単価の低下などから、31億7百万円（前年同期比27.1%減益）となりました。

② ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、自動車関連向け需要の回復遅れなどから販売数量が低迷し減収となりました。アクリルオリゴマーは、回復基調にあるものの販売数量が減少したことなどから減収となりました。高分子凝集剤は、販売価格の低下や輸出の減少などから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は197億8千8百万円（前年同期比10.0%減収）となりました。

営業利益は、アクリルポリマーや高分子凝集剤の販売数量減少などが利益悪化要因となり、22億4千9百万円（前年同期比21.8%減益）となりました。

③ 接着材料事業

瞬間接着剤は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から国内外の市場において工業用途の販売が低調に推移したことなどから減収となりました。機能性接着剤は、自動車やエレクトロニクス関連製品向けの需要回復遅れや一部不採算製品の販売を縮小したことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は73億2千9百万円（前年同期比12.6%減収）となりました。

営業利益は、瞬間接着剤および機能性接着剤の減販などから、5億3千7百万円（前年同期比55.1%減益）となりました。

④ 高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、第5世代移動通信システム（5G）普及の遅れをテレワークの増加などに伴う半導体向けの需要増が補完し増収となりました。無機機能材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き抗菌・抗ウイルスの需要が増加したほか電子部品向けイオン捕捉材の販売も増加し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は66億1千万円（前年同期比8.6%増収）となりました。

営業利益は、旺盛な需要に対する積極的な設備投資を行ったことから償却費負担の増加などがありましたが無機機能材料、高純度無機化学品の増販が寄与し、19億4千7百万円（前年同期比13.5%増益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品とライフサポート製品は、新型コロナウイルス感染症の影響長期化により需要が減少したことなどから減収となりました。建材・土木製品は、受注物件が減少したことなどから減収となりました。エラストマーコンパウンドは、需要低迷や新規開発案件の遅延などから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は183億1千1百万円（前年同期比8.2%減収）となりました。

営業利益は、管工機材製品やライフサポート製品の減販やタイ子会社の固定費負担増加などから、6億4千2百万円（前年同期比30.2%減益）となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は27億3千8百万円（前年同期比4.8%減収）、営業利益は1千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、「受取手形及び売掛金」および「投資有価証券」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ97億7千3百万円、4.0%減少し、2,374億3千8百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」および「未払法人税等」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ71億1千3百万円、14.6%減少し、415億1千8百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたものの、「その他有価証券評価差額金」の減少および「自己株式」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ26億5千9百万円、1.3%減少し、1,959億1千9百万円となり、自己資本比率は80.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、地域間でのばらつきは見られるものの長期化の様相を呈し、完全収束への道筋は定まっておりません。また、貿易面に留まらない米中両国間の対立激化は、世界経済の先行きに対する不確実性を強めています。

そのような状況下、当社グループは、高岡工場に高岡創造ラボを開所するなど高付加価値製品の競争力強化につながる設備投資を予定通り実行し、また、高分子凝集剤の販売事業承継を決定するなどアクリル川下製品の展開強化に向けた取り組みも進めております。基幹化学品事業におきましては、連結対象会社である大分ケミカル株式会社の完全子会社化を行うとともに2021年1月に当社に吸収合併することで事業運営管理の効率化を図ります。新型コロナウイルス感染症に対しては、テレワークや時差出勤の励行などを組み合わせることで従業員の健康維持、生産性の向上を図り、引き続き安全、安定操業の継続を徹底しております。

今後も中期経営計画「Stage up for the Future」で定めた基本方針や重要施策を着実に実行することで、業績の早期立て直しと中長期的な企業価値の向上を推進してまいります。

なお、政府方針である感染拡大の防止策と社会経済活動のレベル引き上げが奏功し景気は徐々に持ち直していくとの前提の下、7月31日に発表した2020年通期の連結業績予想は据え置きました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,989	46,305
受取手形及び売掛金	42,534	36,411
有価証券	44,000	26,000
たな卸資産	18,161	18,489
その他	1,311	1,932
貸倒引当金	△36	△33
流動資産合計	138,959	129,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,493	22,803
機械装置及び運搬具（純額）	25,857	25,312
土地	17,632	17,617
その他（純額）	8,392	11,904
有形固定資産合計	74,376	77,637
無形固定資産		
	727	737
投資その他の資産		
投資有価証券	28,711	25,670
退職給付に係る資産	2,045	2,249
その他	2,406	2,051
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	33,148	29,957
固定資産合計	108,252	108,332
資産合計	247,211	237,438

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,413	11,608
短期借入金	2,503	2,503
未払法人税等	2,030	213
引当金	16	547
その他	13,948	11,732
流動負債合計	32,911	26,605
固定負債		
長期借入金	9,031	8,952
退職給付に係る負債	161	157
その他	6,528	5,803
固定負債合計	15,721	14,913
負債合計	48,632	41,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,411	16,386
利益剰余金	146,252	147,842
自己株式	△302	△2,270
株主資本合計	183,247	182,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,974	7,055
為替換算調整勘定	1,581	1,329
退職給付に係る調整累計額	△40	△10
その他の包括利益累計額合計	10,516	8,374
非支配株主持分	4,815	4,701
純資産合計	198,579	195,919
負債純資産合計	247,211	237,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	108,287	97,488
売上原価	77,548	69,936
売上総利益	30,739	27,552
販売費及び一般管理費	19,652	19,033
営業利益	11,087	8,519
営業外収益		
受取利息	82	46
受取配当金	664	522
持分法による投資利益	189	163
固定資産賃貸料	200	219
為替差益	64	—
その他	183	143
営業外収益合計	1,386	1,094
営業外費用		
支払利息	71	70
為替差損	—	481
環境整備費	218	87
遊休設備費	34	24
その他	77	75
営業外費用合計	401	739
経常利益	12,071	8,874
特別利益		
固定資産売却益	7	—
投資有価証券売却益	74	44
補助金収入	9	—
特別利益合計	91	44
特別損失		
固定資産処分損	58	287
投資有価証券評価損	—	389
特別損失合計	58	677
税金等調整前四半期純利益	12,105	8,242
法人税等	3,604	2,541
四半期純利益	8,500	5,700
非支配株主に帰属する四半期純利益	231	176
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,268	5,523

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	8,500	5,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△822	△1,914
為替換算調整勘定	△258	△252
退職給付に係る調整額	43	30
その他の包括利益合計	△1,037	△2,136
四半期包括利益	7,463	3,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,263	3,382
非支配株主に係る四半期包括利益	199	181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年1月30日開催の取締役会決議に基づく自己株式1,960,200株の取得などを行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間にて自己株式が1,968百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,270百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	49,005	21,990	8,381	6,088	19,946	105,412	2,875	108,287	—	108,287
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,732	938	64	28	20	3,784	1,657	5,442	△5,442	—
計	51,737	22,928	8,446	6,117	19,966	109,196	4,533	113,730	△5,442	108,287
セグメント利益	4,261	2,874	1,197	1,716	921	10,971	101	11,072	15	11,087

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	42,710	19,788	7,329	6,610	18,311	94,750	2,738	97,488	—	97,488
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,608	925	54	51	16	3,655	1,098	4,754	△4,754	—
計	45,319	20,713	7,383	6,661	18,327	98,405	3,836	102,242	△4,754	97,488
セグメント利益	3,107	2,249	537	1,947	642	8,484	19	8,503	15	8,519

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の取得枠拡大

当社は、2020年1月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。2020年10月26日開催の取締役会において、自己株式の取得枠を拡大することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

現下の株式市場および当社の純資産の状況を鑑み、株主へのより一層の利益還元、資本効率の向上、企業価値の拡大および機動的な資本政策の実行を図るため。

2. 取得に係る事項の内容 (変更後)

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 3,600,000株 (1月30日決議に比べ1,200,000株増加)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.74%)
- (3) 取得価額の総額 4,000百万円 (1月30日決議に比べ1,000百万円増加)
- (4) 取得期間 2020年4月21日～2020年12月31日
- (5) 取得方法 東京証券取引所における市場買付
(投資一任契約および自己株式立会外買付取引)

ご参考

1. 2020年1月30日開催の取締役会における決議内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 2,400,000株
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.82%)
- (3) 取得価額の総額 3,000百万円
- (4) 取得期間 2020年4月21日～2020年12月31日
(1月30日開催の取締役会で決議した譲渡制限付株式報酬制度が第107回定時株主総会で承認されることを条件に、当社普通株式を発行または処分する譲渡制限付株式の割当交付決定後から取得)
- (5) 取得方法 東京証券取引所における自己株式取得にかかる投資一任契約に基づく市場買付

2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計 (2020年9月30日現在)

- (1) 取得した株式の総数 1,960,200株
- (2) 株式の取得価額の総額 2,040,067,200円